

2024年度 自己点検・評価 報告書

学校法人 麻生塾
ASO ポップカルチャー専門学校高等課程

自己点検・評価報告書

この自己点検・評価報告書は ASO ポップカルチャー専門学校高等課程の2024年度の自己点検・評価活動の結果を記したものである。

作成日 2025年 1月 31日

ASO ポップカルチャー専門学校高等課程

目 次

I 教育理念・教育目標(育成人材像).....	- 3 -
II 重点項目	- 4 -
III 基準項目 自己点検・評価	- 5 -
基準 1 教育理念、目的、育成人材像	- 5 -
基準 2 学校運営	- 6 -
基準 3 教育活動	- 11 -
基準 4 学修成果	- 16 -
基準 5 学生支援	- 18 -
基準 6 教育環境	- 19 -
基準 7 学生募集	- 21 -
基準 8 財務	- 22 -
基準 9 法令遵守	- 23 -
基準10 内部質保証	- 24 -
基準11 社会貢献・地域貢献	- 25 -

評価結果

- S:適切
- A:ほぼ適切
- B:やや不適切
- C:不適切

I 教育理念・教育目標(育成人材像)

1 教育理念

創造性を磨き、それを支える専門技術を高めます。

同時に、創造性の源となり、チームでの創作活動を支える人間性、人格の成長を図ります

2 教育方針

(1) ASO ポップカルチャー専門学校高等課程教育方針

「好き」を「得意」に やりたいことが見つかる。好きなことを深く知る。好きなことが、得意なことになる場所。

専門学校との連携による専門教育と人間力教育で 生徒の可能性を大きく広げます。

(2) ASO ポップカルチャー専門学校高等課程の育成人材像

【ゲームクリエイターコース】

◇将来に向けての目標 プログラム言語等、ゲームプログラム開発に必要な資格の取得、知識や技術の基本を身に付け、ゲームプログラムを開発できる。

【イラストレーターコース】

◇将来に向けての目標 コンテストへの出品を積極的に行い、イラスト、アニメーション制作に活用できる資格の取得、知識や技術を身に付け、自分の最も得意な分野で活躍できる。

【CG コース】

◇将来に向けての目標 コンテストへの出品を積極的に行い、3DCG 制作に活用できる資格の取得、知識や技術を身に付け、自分の最も得意な分野で活躍できる。

【情報システムコース】

◇将来に向けての目標 プログラミングや Web といったシステム開発には欠かせない資格の取得や幅広い知識と技能 を身につけ、IT に関わる様々な分野で活躍できる。

(3) ASO ポップカルチャー専門学校高等課程カリキュラムポリシー

◇教育カリキュラム目標(カリキュラムポリシー)

・「自分で学ぶ」「仲間と学び合う」授業を通して人間力を育てます。

・専門職として活躍するための基礎となる知識・技能の修得により、状況に応じて柔軟に対応できる専門力を育てます。

・企業ニーズやトレンドを押さえた実践的な授業を行い、基礎から応用、実践へと知識・技能の着実な発展を促します。

Ⅱ 重点項目

1. 重点項目

- ① カリキュラム会議の充実を図り、教育理念・育成人材像に沿ったカリキュラムの質の向上
- ② 多様性のある学生に対する指導環境整備と担当教諭のバックアップ体制の立案
- ③ 学生に対する進路支援に関するカリキュラム・支援体制の充実
- ④ 学内外への ASO ポップカルチャー専門学校高等課程認知拡大のための、在校生実績作りと広報支援の拡充

2. 取り組み状況

- ① 教育理念・育成人材像に沿った教育環境・教育内容を整備するため、毎週木曜日に高等部常勤教職員全員でカリキュラム会議を行い、カリキュラムについての話し合いを行った。
- ② 中学時代からの精神的課題を抱える学生に対し、個々の問題点共有と対策を検討するため、ASO ポップカルチャー専門学校高等課程教職員、とフレックスクラス・カウンセラーと月に一度の共有会議を行い適切な対応を協議した。
- ③ 麻生専門学校グループ内教務・広報部などの協力を得て、職業紹介・専門学校ガイダンスを実施した。高等部内でも年度後半は進路研究の時間にてキャリア教育・進路指導を実施している。学校法人麻生塾就職支援グループ(以下、「就職支援グループ」という。)の協力も得て、就職希望者への個別ガイダンスも実施した。また大学進学希望者を対象に受験先指導・受験準備指導など支援を行った。
- ④ 外部企業のデザインコンテストへの参加を積極的に進めている。中学校の出張講座も積極的に参加した。実績はブログ・SNS にて発信した。

3. 総括(成果と課題)

- ① カリキュラムを見直すにあたり、内容についての議論を行い方向性を定めた。情報システム系コースの専任教員不足による適切なカリキュラム内容の精査が不足している。
育成人材像に沿ったものになっているか、定期的な検証をしていく必要がある。
- ② 初期段階での個別面談・三者面談の機会を増やし欠席増や退学の抑制に努めるなど、支援体制の整備と取り組みを継続した。特に本年度はフレックスクラスと学内カウンセラーとの共有会議を設けることで支援体制を拡充した。家庭内での生活指導と学内の指導を連動させていく必要がある。
- ③ 今年度卒業生は、それぞれの希望に応じた進路確保を達成しており、支援体制充実の成果が発揮されたものと考ええる。
- ④ 大野ジョーダンスコンテスト #3 テーマイラストコンテストで在校生作品が採用されポスターに採用、翔健株式会社ロゴデザインコンペティションに本校在校生作品が採用、マイクラカップで在校生が奨励賞を受賞するなどの成果が出た。大野ジョーダンスコンテストおよび翔健株式会社ロゴデザインについては実際に本校名明記のうえで本校在校生作品が採用されており、また、マイクラカップでの受賞もホームページにて公開され、いずれも本校認知拡大に貢献した。

Ⅲ 基準項目 自己点検・評価

基準 1 教育理念、目的、育成人材像

中項目1-1

法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像を定め、学校構成員に周知を図り、社会に公表しているか。

【取り組み状況】

学校の教育理念等については明文化し、ホームページ上に情報公開の項目を整え、社会に公表している。本校の理念や目的は法人の理念を基に展開しており、当該年度の事業計画書に掲載し、全教職員で共有している。非常勤講師においては年度に1回開催している非常勤講師会にて教育理念、育成人材像の共有を行っている。新入生に対しては、「学校生活のてびき」に掲載しており、担任を通じて周知、指導している。同時にヒューマンリソースベシック教育(HRB 教育)を通して ASO 高等部生としてふさわしい態度や考え方を育むようにしている。

【課題及びその改善方策】

年1回の非常勤講師会を実施しており、学校の教育理念・教育目的および育成人材像について、常勤はもとより非常勤講師も含めた教職員全体での再確認・意識共有を行っている。また、教育理念・教育目的に基づいた個別具体的な判断についても、MicrosoftTeams 講師控室チャンネルにて意識の共有を随時行っており、教職員全体で判断基準が異なることがない。

小項目	評価項目	自己点検・ 評価結果
1-1-1	「学校の教育理念」を定め、学校構成員(すべての教員、職員、学生)及び関連業界に周知を図り、社会に公表しているか。	S
1-1-2	各学科の教育目標(育成人材像)を定め、学校構成員(すべての教員、職員、学生)及び関連業界に周知を図り、社会に公表しているか。	S

基準 2 学校運営

中項目2-1

学校の教育理念に沿った運営方針を定めているか。

【取り組み状況】

運営方針は法人の理念と学校の理念に基づいて策定され、規定通り運営している。

【課題及びその改善方策】

引き続き年度はじめの会議、その後の定例会議で運営方針を周知する。

小項目	評価項目	自己点検・ 評価結果
2-1-1	学校の教育理念に沿った運営方針を策定しているか。また、運営方針を教職員に周知しているか。	S

中項目2-2

事業計画を作成し、執行しているか。

【取り組み状況】

学生募集・学習実績と成果の向上・出席率の向上と退学者の提言を要旨とした事業計画を策定している。運営方針資料並びに事業計画書は高等部共有フォルダに格納し教職員全員が常に確認できる状態にしている。また、毎月第3金曜日の学校運営会議にて事業計画の進捗を確認している。

【課題及びその改善方策】

事業計画に沿った情報の共有を継続しつつ、出席率・退学の指導困難な学生については、担任・フレックスクラス・学内カウンセラーと連動した指導を行っており成果を上げている。

小項目	評価項目	自己点検・ 評価結果
2-2-1	運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか。	S
2-2-2	事業計画は適正に執行されているか。	S

中項目2-3

運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか。

【取り組み状況】

法人としての運営組織や意思決定機関は明文化され、有効に機能している。理事長・副理事長・常務理事・理事・本部長・監事が参加する常任理事会を隔月開催しており、組織の課題等について合議している。また、各校・各部門の校長代行、部門長以上が情報共有を行う部門長会議など各階層別・目的別で必要な会議体が設計されており、計画通りに開催されている。

学内において、年度当初のキックオフ会議資料に各役割分担、年間タム表を設定し、学校組織図によるリーダー・校長代行補佐・校長代行のルートにて意思決定と業務遂行がなされている。また電子稟議書の導入を行い、設定されたルールに則った起案・決済がなされている。毎週金曜日の定例ミーティング、毎月第三金曜日の学校運営ミーティング、半期1回の業務遂行ミーティングを行い、議事録を作成、常に共有できる仕組みを整えている

【課題及びその改善方策】

各職員の研修参加としてオンラインセミナーを活用した。引き続き、研修計画を策定し育成をおこなっていく。

小項目	評価項目	自己点検・ 評価結果
2-3-1	法人の運営組織や意思決定機能は規程等において明確化されているか。また有効に機能しているか。	S
2-3-2	学校あるいは部門の運営組織や意思決定機能は明確化されているか。また有効に機能しているか。	S
2-3-3	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的に開催されているか。	S
2-3-4	学校業務を支援する事務組織が設置され、十分に機能しているか。	S
2-3-5	事務職員の意欲や資質・能力の向上を図るための方策を講じているか。	S

中項目2-4

人事・給与に関する制度を確立しているか。

【取り組み状況】

就業規則をはじめとした人事諸規程および労使協定書が法令に遵守し整備されている。

また、法人運営方針や労働関連法改正に対応し各規程のメンテナンスを実施している。

諸規程は全教職員が閲覧できるよう電子ファイルにて公開されており、変更の際は新旧対照表とともに教職員へ周知されている。

2024年4月の人事制度改正にて、新制度設計の整備が完了し、教職員への変更点説明会を実施し周知を行った。併せて、各個人の理解が深まるよう新旧対照表とともにFAQを公開し周知されている。

採用活動においては年間採用計画をもとに、募集を自社ホームページや外部媒体に適宜掲載し欠員・充足状況等をふまえ更新している。選考過程ではシステムに経過や決裁等を記録保管し、適正に活動をすすめている。

【課題及びその改善方策】

特になし。

小項目	評価項目	自己点検・ 評価結果
2-4-1	人事に関する制度を整備しているか。	S
2-4-2	給与に関する制度を整備しているか。	S
2-4-3	昇給・昇格制度を整備しているか。	S
2-4-4	教職員の募集・採用は適切に行われているか。	S

中項目2-5

情報システム化等による業務の効率化が図られているか。

【取り組み状況】

学内の麻生塾システムを活用し、学生に関する情報管理・事務処理の業務が実行されている。
経費や IT 関連要望なども AgileWorks・Microsoft Teams の活用により業務の効率化が図られている。

【課題及びその改善方策】

特に課題はなし。現行システムの効果的運用継続を行う。

小項目	評価項目	自己点検・ 評価結果
2-5-1	情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか。	S

基準 3 教育活動

中項目3-1

教育理念、教育目標(育成人材像)に沿った教育課程を編成・実施しているか。

【取り組み状況】

教育理念・目標ならびにカリキュラム・ポリシーについては設立時に決定したものを明文化し、全教職員にて共有している。学生に対しては「学校生活のてびき」にて、非常勤講師には講師会にて周知している。

教育目標(育成人材像)に基づき適切な教育が行われているかどうか、検討・改善を目的として年度下期より毎週水曜日にカリキュラム会議を実施しており、カリキュラムは会議内で決定の上編成している。

【課題及びその改善方策】

カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーいずれも教職員、在校生およびその保護者に対しては学生便覧で明示しており共有されている。また、定期的カリキュラム検討会議を実施し、以上のポリシーに基づいたカリキュラム編成および学校運営となっていることを継続的に確認している。

以上のポリシーについて本校関係者以外への周知が充分でないことを鑑み、次年度、高等課程ホームページにて両ポリシーを公開する。

小項目	評価項目	自己点検・ 評価結果
3-1-1	教育目標(育成人材像)に基づきディプロマ・ポリシーを明示し、また学校構成員(教職員及び学生等)に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか。	A
3-1-2	教育目標(育成人材像)に基づき教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)を明示し、また学校構成員(教職員及び学生等)に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか。	A

中項目3-2

教育課程の編成・実施方針に基づき、教育課程・教育内容は適切に行なっているか。

【取り組み状況】

教育課程は開校時のカリキュラムをもとに、学生の理解度・学習進捗度を非常勤教員と相談しながらカリキュラム検討会議を実施し見直しを行っている。

実践的な職業教育については、上級専門学校教員と学校法人麻生塾キャリア支援部による業界セミナーや説明会、また学生作品展を開催するなど、業界理解を深めるとともに実践教育の場として活用している。

台風・大雨による想定外の事態が発生したが、遠隔授業においても授業科目の目標を達成するために、柔軟かつ的確に対応を行った。

キャリア教育について進路研究の時間を利用し、職業理解・進路スケジュールや麻生専門学校グループ校からの分野説明を行い、進路の視野を広げる取り組みを行った。

またシラバスについても全科目シラバス及び困シラバスを作成し在校生に公表している。加えて、当初作成したコマシラバスとの進捗などの異同を記入する欄を設け、全授業担当教員が自身の授業実施後、異なる部分がある場合に記入している。

【課題及びその改善方策】

問題のない運営である。今後もカリキュラム検討会議を継続的に実施し問題の受講生の実態に応じたカリキュラム策定を継続する。

小項目	評価項目	自己点検・評価結果
3-2-1	教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	S
3-2-2	業界のニーズを踏まえ、実践的な職業教育の視点に立った教育内容(学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保等)が提供されているか。	S
3-2-3	専攻分野に関する企業・関係施設等や業界団体と連携して教育課程の編成を行っているか。	S
3-2-4	授業科目の目標を達成するための授業内容や授業方法になっているか。	S
3-2-5	授業及び実習に関するシラバスは作成しているか。	S
3-2-6	シラバスに基づいてコマシラバスを作成しているか。	S
3-2-7	授業はシラバス及びコマシラバスに基づいて実施しているか。	S
3-2-8	専攻分野における実践的な職業教育(インターンシップ、企業等と連携した実習・演習等)を教育課程に体系的に位置づけ、実施しているか。	該当なし
3-2-9	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。	S

中項目3-3

教育の評価を適切に行っているか。

【取り組み状況】

授業評価は、授業アンケートの結果に基づき、教員に対してフィードバックを行い、必要に応じて指導を行うなど常に改善を図っている。特に本校においては授業の大半が非常勤講師によって実施されているため、同じ温度感での教育指導を行うことが困難である。評価方法としては校長代行・各教職員による授業観察を適宜行っている。

【課題及びその改善方策】

問題なく運営されており課題はないが、さらに教育評価の強化のために以下に取り組む。すなわち、Microsoft Teams、Microsoft Forms などのアプリケーションを継続活用し、教員の授業方法・評価に関する制度を整備し、改善する取り組みをさらに強化していく。非常勤講師とも連携を密にし、教育の質向上につなげていく。

小項目	評価項目	自己点検・ 評価結果
3-3-1	授業評価体制を整備しているか。	S
3-3-2	学生によるアンケート等で定期的に授業評価を実施しているか。	S
3-3-3	授業科目の目標に照らし、教育内容・授業方法が適切であるか確認しているか。	S
3-3-4	授業評価の結果を教員にフィードバックしているか。	S
3-3-5	授業評価の結果をもとに、授業内容・授業方法の改善を図るための取り組みを行っているか。	S

中項目3-4

成績評価と単位認定を適切に行っているか。

【取り組み状況】

定期試験または定期試験に準ずる方法で適切に評価している。また、評価規程については学生生活のてびき等にて学生に周知している。全ての科目で成績評価・進級・卒業判定の基準は明確に定めている。

個々の科目の評価方法については一覧表を作成し、全学生に提示し確認を促した。

【課題及びその改善方策】

成績評価基準について問題はないが、成績評価基準が適切であるかどうか継続的な確認と学生自身が理解を深める方法について継続して検討をすすめる。

小項目	評価項目	自己点検・ 評価結果
3-4-1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	S
3-4-2	学生や保護者等に、成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準、進級要件、卒業要件を適切に明示しているか。	S
3-4-3	各規程に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか。	S

中項目3-5

教育活動を確実に実践するために、教育体制の整備を適切に図っているか。また教員の能力開発のための資質向上の取り組みを行っているか。

【取り組み状況】

法令に則り、学校の教育理念や目的の達成に必要な教育課程の種類、分野、学生数を考慮し、必要な教員組織を構築している。

非常勤講師会を開催し、学生指導・学習指導についての資料を細かく提示し、統一した指導ができるように周知を徹底している。

常勤教員がオンラインによる外部研修に参加することで、専門関連領域の理解が進んだ。

【課題及びその改善方策】

適切に実施できているが、さらに改善に取り組む。学校運営の計画内容・組織体制に基づき業務分担の適宜見直しを行い、教職員の業務の平準化を図ることで、教職員全体の質の向上に取り組む。特に非常勤講師並びに麻生専門学校グループ校との連携を密にするよう努める。

小項目	評価項目	自己点検・ 評価結果
3-5-1	法令に則り、学校の教育理念・教育目標の達成に必要な教員を確保しているか。	S
3-5-2	教員の組織体制を整備しているか。	S
3-5-3	教員に必要な知識・技能を身に付け、資質・能力の向上を図るための取り組みを行っているか。	S

基準 4 学修成果

中項目4-1

学科ごとに学生の学修成果を中心とした目的・目標を設定して教育活動を行い、多様な視点から成果の達成状況を把握し、改善に活用しているか。

【取り組み状況】

教育活動の成果としての成績、検定取得、退学者等の目標値については事業計画の中で全教職員に周知している。進捗状況については毎月、クラス運営報告書として各クラスの状況を報告し、その状況を毎週の定例ミーティングで状況を共有すると共に進捗を確認し、必要に応じて修正を行っている。

担任を中心に学生との連絡を密に行うことで、学生の制作意欲の向上やモチベーション維持に取り組んでいる。一部の学生はコンテスト上位入賞で良い成績を残している。

就職希望者の活動においては担任・副担任によるサポートがなされている。退学の懸念がある学生については学生の情報及び指導内容を Microsoft Teams・麻生塾システムの面談記録で共有し、フレックスクラス・学内カウンセラーとも月に一度のミーティングで共有している。

【課題及びその改善方策】

特に問題はない

小項目	評価項目	自己点検・評価結果
4-1-1	就職率・就職者の割合の向上の取り組みを行っているか。また結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか。	評価除外
4-1-2	退学率の低減が図られているか。また結果を分析し、退学率を低減させる取り組みを行っているか。	S
4-1-3	資格取得率、公務員合格率及びコンテスト・コンペ入選数の向上の取り組みを行っているか。また結果を分析し、教育活動及び学生支援の改善を図っているか。	S
4-1-4	資格取得等に関する指導体制及びカリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	S

中項目4-2

卒業生の社会的な活躍および評価を把握しているか。

【取り組み状況】

麻生専門学校グループ校に進学した卒業生については、各進学先の担任等より状況を口頭ならびに Microsoft Teams で確認を行っている。当該内容については学内の Microsoft Teams を使用して全職員に共有をしたうえで、教育活動の改善に活用している。

麻生専門学校グループ校以外への進学者及び就職者については、直接本人のヒアリングを行っている。

【課題及びその改善方策】

適切に把握できている。

小項目	評価項目	自己点検・ 評価結果
4-2-1	卒業後の専攻分野におけるキャリア形成への効果を把握しているか。また、それを踏まえ教育活動等の改善を図っているか。	S

基準 5 学生支援

中項目5-1

学生に対する修学支援、生活支援、進路支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか。

【取り組み状況】

経済的支援として、公的支援制度の案内・分割納入制度などを実施している。健康管理として1年に1回健康診断の実施ならびに麻生専門学校グループ臨床心理士・カウンセラーの ASO 高等部内での物理的活動スペースを設けるなどの施策を実施している。また、日常的な生活環境への支援として放課後などの体育活動施設・スポーツジム・図書室および体調の悪い生徒には保健室などを提供している。また本校では課外活動として e-sports 部、デッサン部などの部活動の紹介参加支援ならびに放課後の教室開放と各種施設の貸し出しを行っている。

【課題及びその改善方策】

問題なく実施されている。継続実施を行う。

小項目	評価項目	自己点検・評価結果
5-1-1	学生の就職・進路支援を適切に行っているか。	S
5-1-2	学生相談に関する体制を整備しているか。	S
5-1-3	学生の経済的側面に対する支援制度を整備し、適切に運営しているか。	S
5-1-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	S
5-1-5	学生の生活環境への支援を行っているか。	S
5-1-6	保護者等との連携を適切に行っているか。	S
5-1-7	卒業生への支援体制を整備しているか。	評価除外
5-1-8	学生の課外活動に対する支援を適切に行っているか。	S

※社会人学生とは、学生のうち、職に就いている者（給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を目的とする仕事に就いている者）をいう。夜間学科及び通信課程を設定している学校が評価対象

基準 6 教育環境

中項目6-1

教育運営に支障を生じさせないように教育設備を整備しているか。

【取り組み状況】

学校として基本となる施設、設備の補充をしており、かつ良好に管理ができています。在校生は個人で PC 購入し入学をしているが、液晶タブレットなど実習設備をコース人数に応じて増設した。

教育環境の整備については、規定やルールを定めている。図書室については専門分野についての資料を設置し、教職員、学生が利用できる状態になっている。タブレット等の教育機材の学生への貸し出しについては、管理台帳の整備をしている。

【課題及びその改善方策】

特になし

小項目	評価項目	自己点検・ 評価結果
6-1-1	教育上の必要性に対応した施設・設備を整備し、維持・管理、安全・衛生を確保しているか。	S
6-1-2	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか。	S
6-1-3	図書室・図書コーナーがあり、図書館サービスは十分に機能しているか。	S

中項目6-2

教育環境を適切に維持しているか。

【取り組み状況】

校舎と付帯設備については必要な維持活動を実施している。学内外の安全対策に関しては防災、防犯設備の点検を行い、避難経路を掲示し教員が周知徹底を図っている。新年度のオリエンテーション時に全校での避難訓練を実施、また、学生の登下校及び学校生活については注意を促しており、安全確保にも十分に配慮している。避難訓練の資料を教職員向け、在校生向けに準備し配布、訓練を実施した。

【課題及びその改善方策】

適切に実施しているが、継続して避難訓練を実施し学生の安全確保の配慮を行っていく。

小項目	評価項目	自己点検・ 評価結果
6-2-1	学校における安全管理体制の整備を行っているか。	S
6-2-2	定期的に防災訓練を実施しているか。	S

基準 7 学生募集

中項目7-1

【取り組み状況】

アドミッション・ポリシーは全教職員に周知し、募集要項及びホームページにて社会に公表している。募集活動においてはコースごとの育成人材像、目指す資格や検定、進学及び就職実績、習得できる知識及び技術等を伝えている。募集要項及びホームページに入学者の選抜方法を明示し、公正かつ適切に実施している。校納金等については、適切な設定を行っている。

【課題及びその改善方策】

問題なく運営されている。引き続き公表すべき情報の公表を継続する。

小項目	評価項目	自己点検・ 評価結果
7-1-1	入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)を策定し、学校構成員(教職員及び学生等)に周知し、社会に公表しているか。	A
7-1-2	募集活動において、教育成果を含めた学校情報は正確に伝えているか。	S
7-1-3	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか。	S
7-1-4	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学者選抜を行っているか。	S
7-1-5	校納金(学生納付金)等は妥当なものとなっているか。	S

基準 8 財務

中項目8-1

教育活動を安定的かつ継続的に進めるため、財務基盤が安定し、適正な財務管理、監査の実施及び情報の公開を行っているか。

【取り組み状況】

財務基盤は安定しており、貸借対照表や資金収支計算書にみる各種残高および基本金積み上げ額は、学生に必要かつ快適な教育環境を提供できる十分な財務体質を備えているといえる。

年度予算に従って月次予算を策定し月次における予算決算管理もなされている。部門長にて月次での予算管理が行っており、重要な差異が生じた場合には原因の特定や問題点の把握を行い適切に対応している。

また、私立学校法及び寄付行為に基づき、監事による監査が適切に行われており、監査報告書を受領している。

なお、ホームページにて、貸借対照表・収支計算書・財産目録・監査報告書を公開している。

【課題及びその改善方策】

特に課題はなし。

小項目	評価項目	自己点検・ 評価結果
8-1-1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか。	S
8-1-2	予算計画は有効かつ妥当なものとなっているか。また事業・予算計画に基づき適正に執行管理されているか。	S
8-1-3	私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか。	S
8-1-4	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか。	S

基準 9 法令遵守

中項目9-1

法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正に学校運営を行なっているか。

【取り組み状況】

専修学校設置基準に基づいて運営されている。個人情報については個人情報保護規程を設けている。在校生に対しては入学時に個人情報の利用・提供に関する同意書を回収している。

【課題及びその改善方策】

特になし。

小項目	評価項目	自己点検・ 評価結果
9-1-1	法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか。	S
9-1-2	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか。	S

基準10 内部質保証

中項目10-1

教育の質を保証する仕組みを構築し、教育内容等について自己評価を行い、課題解決に取り組んでいるか。また、教育情報を積極的に公開しているか。

【取り組み状況】

学校運営において、自己点検・評価を実施し改善項目の抽出を行った。担当教職員を中心に自己点検・評価活動を行ない、問題解決のために教職員全体で共有を行っている。その結果に基づいて、改善計画を作成・実施している。

【課題及びその改善方策】

毎年自己点検・評価活動で明確になる課題について、継続して担当者だけでなく非常勤講師を含む教職員全体で改善に向けた方策を講じる必要がある。非常勤講師会にて自己点検で課題となった事項の共有を行い半期で改善状況を確認する。

教職員定例会議にて自己点検・評価活動で出た課題の改善策を協議し、引き続き問題解決に取り組んでいく。

非常勤講師を一堂に会する会議の設定は難しいが、オンラインの利用も含めて非常勤講師個別に共有・改善を行っていく。

小項目	評価項目	自己点検・評価結果
10-1-1	学校教育、学校運営について、組織的に自己点検・評価を実施しているか。	A
10-1-2	自己点検・評価の結果に基づき、学校教育と学校運営の質の改善と向上のための取組みを組織的に、積極的かつ継続的に行っているか。	S
10-1-3	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施しているか。	評価除外
10-1-4	学校関係者評価結果をもとに改善の取組みを行っているか。	評価除外
10-1-5	自己点検・評価及び学校関係者評価の結果を公表することで社会に対する説明責任を果たしているか。	S

基準11 社会貢献・地域貢献

中項目11-1

公共的な機関として、資源を活用して社会的な活動や地域貢献活動を行っているか。

【取り組み状況】

年間で、夏季と冬季の 2 回、福岡市内の中学生を対象にした無償のイラスト講座を実施。また、地元ゲーム制作会社経営者講演会を、中学生およびその保護者に開放するなど、中学生の進路選択に資する行事を開催した。

在校生に、夏休みにボランティアを行うことを推奨している。市内のボランティアを紹介しているボランティアセンターの紹介を行い、ボランティア活動の探し方などの指導・教育を行っている。

【課題及びその改善方策】

イラスト講座は市内一円からの参加者を集めることができおり好評を博しており十分な成果を上げている。ボランティアについては、一定の成果を上げているが、ボランティア参加者の拡大が今後の課題である。

小項目	評価項目	自己点検・ 評価結果
11-1-1	学校の教育資源や施設を活用し、社会貢献・地域貢献を行っているか。	S
11-1-2	学生のボランティア活動を奨励、具体的な活動支援をしているか。	A